

# 1. 母子継続ケア政策人材養成

国立大学法人 東京大学大学院 医学系研究科 国際地域保健学教室

## 【現地の状況やニーズなどの背景情報】

妊産婦と新生児の死亡率削減はガーナとミャンマーにおける重要課題。  
母子の産前・出産・産後のケアを継続的に支援する「母子継続ケア」の強化が必要。

## 【活動内容】

国際保健における実践的な知見を活かし、国際地域保健学教室（東京大学）がガーナ国保健省ガーナヘルスサービス、ミャンマー国保健省およびヤンゴン大学と協力。

日本の母子保健制度、妊産婦・乳幼児健診、青少年性教育、地域保健について講義・見学を通じて知見を高め、継続ケア政策立案ワークショップを実施。

## 【期待される成果や波及効果等】

日本政府が推進する「母子継続ケア」のモデル拡大を担う人材の育成。  
ガーナではガーナヘルスサービスが人材育成を引き継ぐ。ミャンマーでは今後の継続ケアの可能性について現地調査を実施。

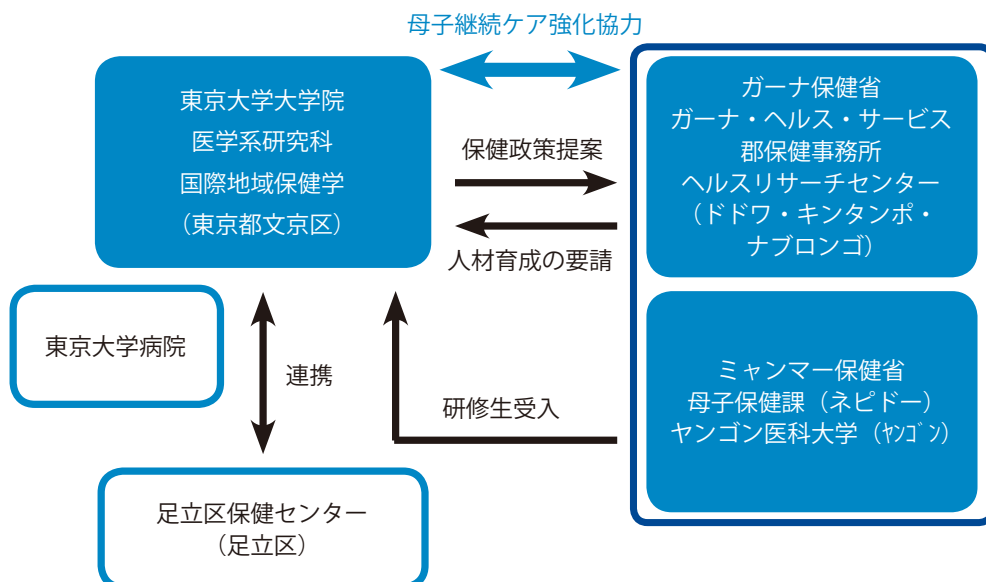
### <研修実施結果>

【時期】 2015年8月18～21日

【対象者】 ガーナ国保健技官（6名）、  
ミャンマー国保健技官（1名）、  
ヤンゴン大学教授（1名）

### 【研修内容】

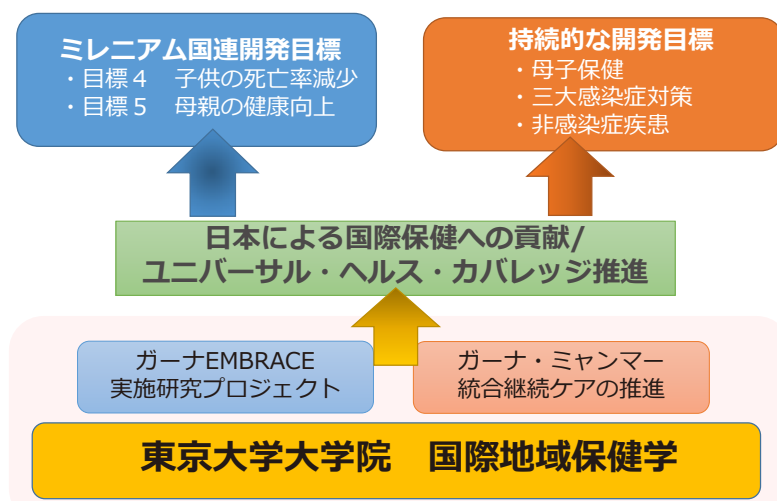
- ・母子継続ケア
- ・国際保健と日本の母子保健制度
- ・エビデンスに基づく母子継続ケア計画立案
- ・妊産婦健診・乳幼児健診、青少年性教育



## 事業の背景

- ・妊産婦と新生児の死亡率削減はガーナとミャンマーにおける重要課題
- ・母子の産前・出産・産後のケアを継続的に支援する「母子継続ケア」の強化が必要
- ・国際保健における実践的な知見を活かし、国際地域保健学教室（東京大学）がガーナとミャンマーの保健省と協力
- ・日本の母子保健制度、妊産婦・乳幼児健診、思春期教育、地域保健について講義・見学を通じて知見を高め、継続ケア政策立案ワークショップを実施

## 事業の概要



## 事業結果概要

### 【事業目標】

母子を中心とする保健状態向上のため、母子継続ケアモデルの拡大を担うガーナとミャンマーの保健実務家および保健研究者の人材育成

### 【期間】

平成27年8月18日～21日

### 【場所】

東京大学、東京大学病院、足立区保健センター

### 【対象】

- ・ガーナ：保健省／ガーナヘルスサービス／郡保健事務所（3人）・ヘルスリサーチセンター（3人）
- ・ミャンマー：保健省／母子保健課（1人）・ヤンゴン第一医科大学（1人）

## 研修内容

- ・日本での母子保健継続ケアの歴史や実践を、時間軸と場所軸の双方の視点から学ぶ
- ・講義、見学、ワークショップの組み合わせによる効果的な学び



## 研修の構成

ケア分類	講義名
継続ケア概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>• What is Continuum of Care?</li> <li>• Midwife's Role for Integrated and Continuous Maternal Health in Japan</li> <li>• Continuum of Care in Nepal, Ghana</li> </ul>
母子保健システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Maternal and Child Health System in Japan</li> <li>• Maternal and Child Health System in Myanmar and Ghana</li> </ul>
保健政策計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Evidence-based Health Policy Planning 1~3</li> </ul>
思春期・妊娠前ケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Health Education (Life and Sexual Education) for adolescents in Japan</li> </ul>
産前・出産・産後期ケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Field visit: From Pregnancy to Postnatal Care (The University of Tokyo Hospital, Department of OBGY)</li> </ul>
幼児・小児ケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Field visit : Infant Check-up (Adachi Ward Public Health Center)</li> </ul>
継続ケア（場所軸）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Community Health Experience of Saku Hospital</li> <li>• Field visit: Child-rearing Class for Parents (The University of Tokyo Hospital)</li> </ul>

## 講義風景



## 医療施設見学



東京大学病院



足立区  
保健センター



## 研修者の声

“地域医療を改善するためのあらゆる可能性が「継続ケア」にあることが分かった。これまで受けた研修の中で、最も有益で印象的な研修だった。”

Mr. Francis Yeji  
(Navrongo Health Research Centre, Ghana)

“母子保健の課題に対処するため、日本は「継続ケア」の枠組みでタイムリーに保健システムの改善を行ってきた。他の保健省関係者にも日本の経験を学んでもらいたい。”

Dr. Efua Asante  
(Dodowa District Health Management Team, Ghana)

## 修了書授与



## 事業の成果

### 成果1. 日本政府が推進する「母子継続ケア」に関し、研修参加者の知識・理解が向上

- ガーナの研修者がガーナヘルスサービスの母子保健関係者に継続ケアに関する発表を実施
- ミャンマーでは実践と研究の双方の面から継続ケアの可能性を検討  
母子継続ケア調査を実施

### 成果2. 日本政府の国際保健外交戦略の柱となる母子保健に「人材育成」の側面から貢献

- 日本政府が支援する母子保健事業（「ガーナEMBRACE実施研究」および「保健関連ポスト国連ミレニアム開発目標における疾病対策戦略」）のコアとなる人員を選抜

## 今後の課題

- 「ガーナEMBRACE実施研究」プロジェクト終了にともない、ガーナヘルスサービスが普及・展開を引き継ぐ。これによる継続的な人材の育成が必要
  - 来年度も引き続き研修実施が望まれる
  - より多くの参加者に対応できるよう、本邦から主要な講師を現地に派遣するのが効率的
  - ヘルスリサーチセンターに研修センターとしての機能を導入し、国内外の母子保健継続ケアの人材育成をする

## 今後の方針

- 母子継続ケア研究事業を通じて、ガーナとミャンマーの双方において引き続き研修のフォローアップを図る
  - ガーナではガーナヘルスサービスが母子継続ケア人材の育成を引き継ぐ定期的な後継者指導を行う
  - ミャンマーでは保健省とヤンゴン第一医科大学と協力し、実践と研究の双方からフォロー：継続ケアに関する現地調査を実施し今後の可能性について検討